

直木賞作家・姫野カオルコプロデュース作品

聞き耳アワーシリーズ

ただの「朗読劇」ではない演劇スタイル

演劇 × 朗読

1. 企画概要

文学を「読む」から「劇場で聴く」へ。

直木賞作家・姫野カオルコがプロデュース！

新しい文学体験型朗読劇シリーズです。

選び抜かれた珠玉の物語を、劇場という空間で声・音・映像とともにQPSSが立体化。

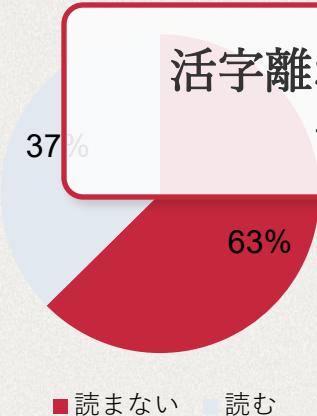
ライブ体験を起点とし、ポッドキャスト・音声配信へと展開。

「耳から出会う文学」を日常へ届けます。

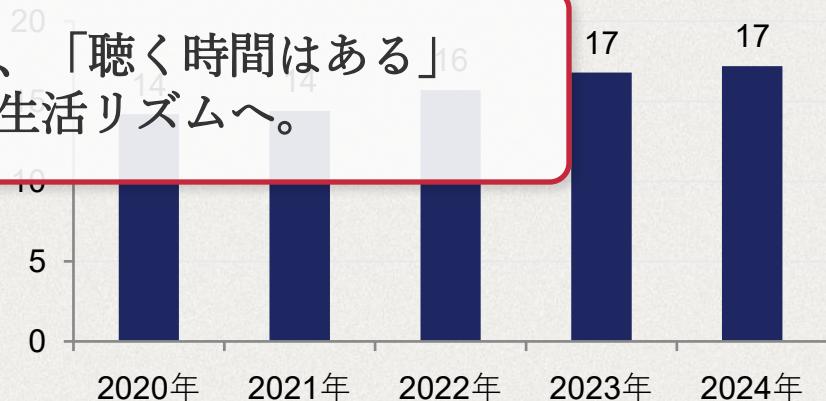
2. 企画意図

「耳からはじまる文学体験」を劇場で創出させたい

活字離れの現状（1か月に本を1冊も読まない割合）



国内ポッドキャスト月間利用率の推移



出典：文化庁『国語に関する世論調査（令和5年度）』

出典：株式会社オトナル・株式会社朝日新聞社『ポッドキャスト国内利用実態調査』

3. 作品コンセプト

少し怖くて、少し可笑しくて、なぜか心に残る物語たち。

怪談、幻想譚、純文学、珠玉の短編

——ジャンルを横断しながら

耳で聞くとより深く沁みる作品を

姫野カオルコが選書。

公演ごとに、違う世界へ迷い込むような
感覚へいざなう連作型朗読劇シリーズ。

音楽・環境音による没入感ある演出の中、
実力派キャストが朗読。

ポッドキャスト等の「耳だけ」とは異なる、
劇場空間ならではの【ライブ体験】

4. 直木賞作家「姫野カオルコ」



鋭さとユーモア

そして人間の機微を描き続けてきた作家。

本シリーズでは以下を担い、キュレーターとして参加

- 作品選定
- 世界観監修
- 文学的クオリティ統括

単なる朗読劇ではなく、作家と一緒にになって届ける
文学レベルとして展開します。

5. イラストレーター：ラジカル鈴木



独特の線と色彩感覚で、どこか懐かしく
どこか不穏な幻想世界を描くイラストレーター。
ユーモアと毒気が共存する
ビジュアルは、文学と深く響き合う。

6. QPSSとは

QUOBO PICTURES Screenwriters Studio (QPSS)

「物語の力で世界を動かす」知的生産工房。



映画・ドラマの企画開発から、ゲーム、企業キャラクター開発まで、構成力と創造性であらゆる物語を設計・構築するクリエイティブ集団です。

本シリーズでは、脚本構成・舞台演出設計・音響設計を統括。文学作品を“舞台言語”へ翻訳する役割を担います。

HP : <http://www.quobo-pic.com>

7. メディア展開 & キャラクター

本公演は単発イベントではなく、継続的なシリーズIPとして展開。

展開予定

- ・ 劇場朗読公演
- ・ ポッドキャスト配信 / 音声アーカイブ
- ・ サブスク配信
- ・ 書籍コラボ
- ・ グッズ展開 / オリジナルキャラクター

聴く文学ブランドとしてIP化を目指します

オリジナルマスコット



耳を象ったキャラクターを制作予定
グッズ化やキャラクタービジネスでも展開
IPの定着と愛着を醸成します。

8. ターゲット

活字から離れていた新規層にも多角的にアプローチします。

文学・小説ファン

若年層・カルチャー層

⇒ 「姫野カオルコ氏の選書・監修」でアピール

⇒ 「2.5次元キャストの起用」でアピール

その他の周辺ターゲット

- ポッドキャストリスナー
- ミステリー／怪談好き
- 舞台・朗読劇ファン

9. 実施概要 & 公演予定

上演期間	3日間を予定
上演時間	約90分（トークショー込み）
出演	2~3名（2.5次元俳優の起用を想定）
会場	小規模劇場（50-100席想定）
公演回数	5-6回公演
チケット代金	5000円前後
将来展望	シリーズ化／定期開催（※詳細は調整可能）

今後の公演予定

【第1弾】 「エンドレス・ラブ」（徳間書店）11月または12月想定

【第2弾】 「X博士」

【第3弾】 「探偵物語」